

第 5 章 赤土等流出源調査

陸域の赤土等流出源及び赤土流出防止対策の実施状況の把握を行うために降雨時、平常時において現地調査を行った。

5.1 調査内容

(1)調査地域

調査対象流域の一覧を表 5.1-1 に示した。

表5.1-1 調査対象流域一覧

	監視地域名		対象流域	
沖縄島	34	平良湾北	14	古島川流域
	40	宜野座南東	43	漢那中港川流域
			42	宜野座福地川流域
石垣島	69	石垣島東南	95	轟川流域 (白保)

(2)調査回数

各地域にて降雨時、平常時の計 2 回調査を行った。

(3)調査事項

調査する内容を表 5.1-2 に示した。

表 5.1-2 調査内容

	調査内容
降雨時調査	・ 主な赤土等流出源の状況確認 ・ 赤土等流出防止対策の状況確認
平常時調査	・ 農地一筆ごとの栽培種と赤土等流出防止対策に関する情報収集

5.2 第 1回調査

降雨時の「流域内における主な赤土等流出源」及び「その周辺の赤土等流出防止対策」の状況を把握するため、各地域にて写真撮影等の現地調査を行った。

5.2.1 古島川流域

古島川流域においては山地の斜面上にパイナップル畑が広がっていることもあり、降雨時は勢いを持ったまま濁流が側溝や道路に流れている様子が確認された。

また、グリーンベルトやブロックなどで末端対策を行っていても、車両が出入りする通路などから流れ出ていることが多く、沈砂池や河川においてもかなり濁っている様子が確認された。

調査結果詳細を 5.2-1～5.2-6 ページにて示す。

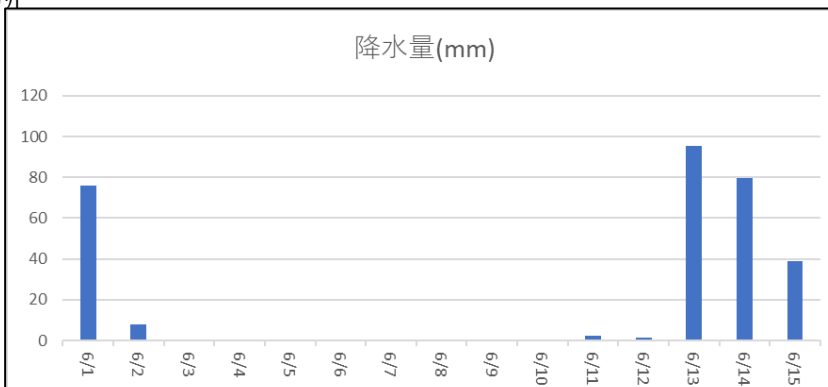
古島川河口	
流域内状況	
本流域は古島川を主とする流域であり、沖縄本島北部の東村に位置する。流域全体に農地が広がっており、主にパイナップルを栽培している	流域位置図 
流域図	
 パインアップル畑を中心とした農地が広がる — 流域界 ■ 河川・水路	
＊衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。	
	パインアップル畑が広がっている

古島川河口

第1回現地調査（2023年6月14日実施）

降雨状況 東観測所

調査前日までの
降雨状況



調査日当日の

降雨状況

終日の合計で 79.5mmの雨が降っていた



- 流域界
- 河川・水路
- 写真位置
- ① 河川・水路
- A 農地流出
- a その他流出
- あ 農地対策
- ア その他対策

＊衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

古島川河口 第1回現地調査（2023年6月14日実施）	
調査日には終日の合計で79.5mmの雨が降っていた為降雨時として調査実施	
河口、河川状況等	
1	河川河口域において、かなりの濁りが確認された。
2	河川中流域において、かなりの濁りが確認された。
3	流域内の水路において、若干の濁り（濁度126.0度）が確認された。
流出情報等	
・農地	
A,C,D	パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
G,H,K	農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
E,F,I,J	裸地の目立つパイナップル畑が確認された。パイナップル畑の状況から 谷部へ赤土等の流出可能性が高いと考えられる。
B	農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
・その他	
a	路肩斜面から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
b	不耕作箇所から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
流出防止対策等	
・農地	
あ	土嚢による対策が確認されたが、大部分が不耕作地になっており赤土流出等は確
い	認されなかった。
	写真奥側の対策をしている所は防げているが畑の入口は対策されていない為、
	そこから流出している
・その他	
ア	沈砂池が設置されているが、オーバーフローしている

古島川河口 第1回現地調査（2023年 6月 14日実施）		
調査日には終日の合計で 79.5mmの雨が降っていた為降雨時として調査実施		
		
1. 河川河口域の状況 (濁りあり)	2. 河川中流域の状況 (濁りあり)	2. 河川中流域の状況 (濁りあり)
		
3. 水路より採水 (濁度 126.0(度))	A. パイナップル畑から道路や 側溝へ赤土等の流出	A. パイナップル畑から 道路や側溝へ赤土等の流出
		
B. 農地から道路や側溝へ 赤土等の流出	B. 農地から道路や側溝へ 赤土等の流出	C. パイナップル畑から 道路や側溝へ赤土等の流出
		
C. パイナップル畑から 道路や側溝へ赤土等の流出	D. パイナップル畑から道路や 側溝へ赤土等の流出	E. パイナップル畑から 道路や側溝へ赤土等の流出
		
E 採水 (濁度 173.5(度))	E. パイナップル畑から 道路や側溝へ赤土等の流出	E. パイナップル畑から 道路や側溝へ赤土等の流出

古島川河口 第1回現地調査（2023年 6月 14日実施）		
調査日には終日の合計で 79.5mmの雨が降っていた為降雨時として調査実施		
		
G. 農地から道路や側溝への赤土等の流出	H. 農地から道路や側溝への赤土等の流出痕が確認された	I. パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出
		
I. パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出	I. パイナップル畑からの流出 (濁度 9999.0 度)	J. パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出
		
K. パイナップル畑から道路や側溝へ赤土等の流出	a. 路肩斜面から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された	a. 路肩斜面から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された
		
b. 不耕作地から道路や側溝へ赤土等の流出が確認され	あ. 土嚢による対策跡地	い. 月桃などで対策しているが通路から流出している
		
ア. 沈砂池が設置されている		

5.2.2 漢那中港川流域

河川の西部、北部山地に沈砂池が多く設置されているが、調査当日はオーバーフローが見られ、流出先の河川や水路でもかなりの濁りがあった。

道路と接している畑地では、農業機械の通路として用いるためか末端対策があまり見られず、道路を経て河川に濁流が流れている様子も確認された。

調査結果詳細を5.2-8～5.2-13 ページにて示す。

漢那中港川河口

流域内状況

本流域は漢那中港川を主とする流域であり、沖縄本島中部の宜野座村に位置する。

流域内の農地は、「水質保全対策事業（耕土流出防止型）」や「農地環境整備事業」の対象区域であり、重点的に赤土等の流出防止対策が進められている。

流域位置図



流域図



＊衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。



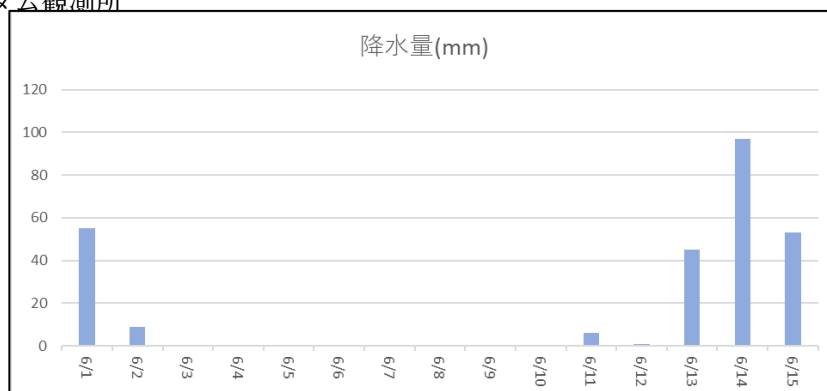
野菜やサトウキビ等が栽培されている

漢那中港川河口

第1回現地調査（2023年6月15日実施）

降雨状況 漢那ダム観測所

調査前日までの
降雨状況



調査日当日の

降雨状況

終日の合計で 53mmの雨が降っていた



＊衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

漢那中港川河口 第1回現地調査（2023年 6月 15日実施）	
調査日には終日の合計で 53mmの雨が降っていた為降雨時として調査実施	
河口、河川状況等	
1	河川河口域において、濁りが確認された。
2	河川の合流地点において北側支流からの濁りが多く確認された。（濁度 75(度)）
3	河川上流域において、濁りは確認されなかった。
4	河川上流域において、濁りは確認されなかった。
5	河川中流域において、濁りが確認された。
6	河川上流域において、濁りが確認された。
7	砂防ダム直後の水路において濁りが確認された。（濁度 56.3(度)）
流出情報等	
・農地	
A,B,D	農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
C,E,F	農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
G	農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。一部葉ガラがみられる。
流出防止対策等	
・農地	
あい	ベチパーによる対策あり。中道から流出痕
う	サトウキビ畑において葉ガラマルチングによる対策が確認された。
え	葉ガラマルチによる対策有。道路への流出痕は無いが水路には濁りが見られた。
・その他	
アエクコ	沈砂池。オーバーフローが確認された。
イオカ	沈砂池。オーバーフローは確認されなかった。
ウ	沈砂池。水面に藻が繁殖していた。
キ	砂防ダム。濁りが確認された。
ケ	沈砂池。オーバーフローは確認されなかったが池内に大量の雑草が確認された。
サ	おそらく沈砂池であるが、雑草が茂っており内部の確認ができず。

漢那中港川河口 第1回現地調査（2023年 6月 15日実施）		
調査日には終日の合計で 53mmの雨が降っていた為降雨時として調査実施		
		
1. 河川河口域の状況 (濁りあり)	2. 河川合流域の状況	2 河川下流域採水 (濁度 7.5 度)
		
3 河川上流域の状況	4 河川上流域の状況	5 河川中流域の状況 (濁りあり)
		
6 河川上流域の状況 (濁りあり)	7. 河川上流域の状況 (濁りあり)	7. 河川上流域採水 (濁度 56.3 度)
		
A. 農地から道路や側溝へ 赤土等の流出	B. 農地から道路や側溝へ 赤土等の流出	C. 農地から道路へ 赤土等の流出
		
D. 農地から道路や側溝へ 赤土等の流出	E. 農地から道路へ 赤土等の流出	F. 農地から道路へ 赤土等の流出

漢那中港川河口 第1回現地調査（2023年 6月 15日実施）		
調査日には終日の合計で 53mmの雨が降っていた為降雨時として調査実施		
		
G. 農地から道路へ赤土等の流出	あ. ベチパーによる対策	い. ベチパーによる対策
		
う. 葉ガラムルチ	え. 葉ガラムルチ	え. 水路にやや濁りあり
		
ア. 沈砂池の状況 （オーバフロー有、濁り）	イ. 沈砂池の状況 （オーバフロー無、濁り有）	ウ. 沈砂池の状況 （オーバフロー無、濁り）
		
ウ. 沈砂池の状況 （水面に藻が繁茂してい	エ. 沈砂池の状況 （オーバフロー有、濁り有）	オ. 沈砂池の状況 （オーバフロー無、濁り
		
カ. 沈砂池の状況 （オーバフロー無、濁り	キ. 砂防ダム （濁り有）	キ. 砂防ダム （濁り有）

漢那中港川河口 第1回現地調査（2023年6月15日実施）		
調査日には終日の合計で53mmの雨が降っていた為降雨時として調査実施		
		
ク. 沈砂池の状況 (オーバーフロー有、濁り)	ケ. 沈砂池の状況 (オーバーフロー無、雑草有)	コ. 沈砂池の状況 (オーバーフロー有、濁り)
		
サ. おそらく沈砂池 (雑草が多く内部確認不)		

5.2.3 宜野座福地川流域

全体的に勾配修正などの土地改良が行われた土地が多く、その地点から流れる水については濁りが少なかった。

沈砂池のオーバーフローもなく、河川下流においても濁りはわずかであった。

調査結果詳細を 5.2-15～5.2-19 ページにて示す。

宜野座福地川河口

流域内状況

本流域は、福地川を主とする流域であり、沖縄本島中部の宜野座村に位置する。流域内には、「県営農地帯総合土地改良事業」により整備された、農地が広がっている。この農地にはサトウキビを主として栽培されている。

流域内北側は、米軍演習場の区域となる。この箇所はほとんどが山地であることから、赤土等の流出はないと考えられる。

流域位置図



流域図



＊衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。



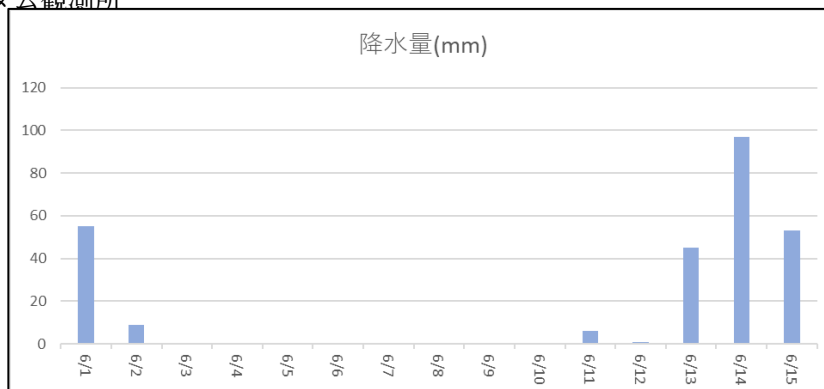
サトウキビ畑が広がっている

宜野座福地川河口

第1回現地調査（2023年6月15日実施）

降雨状況 漢那ダム観測所

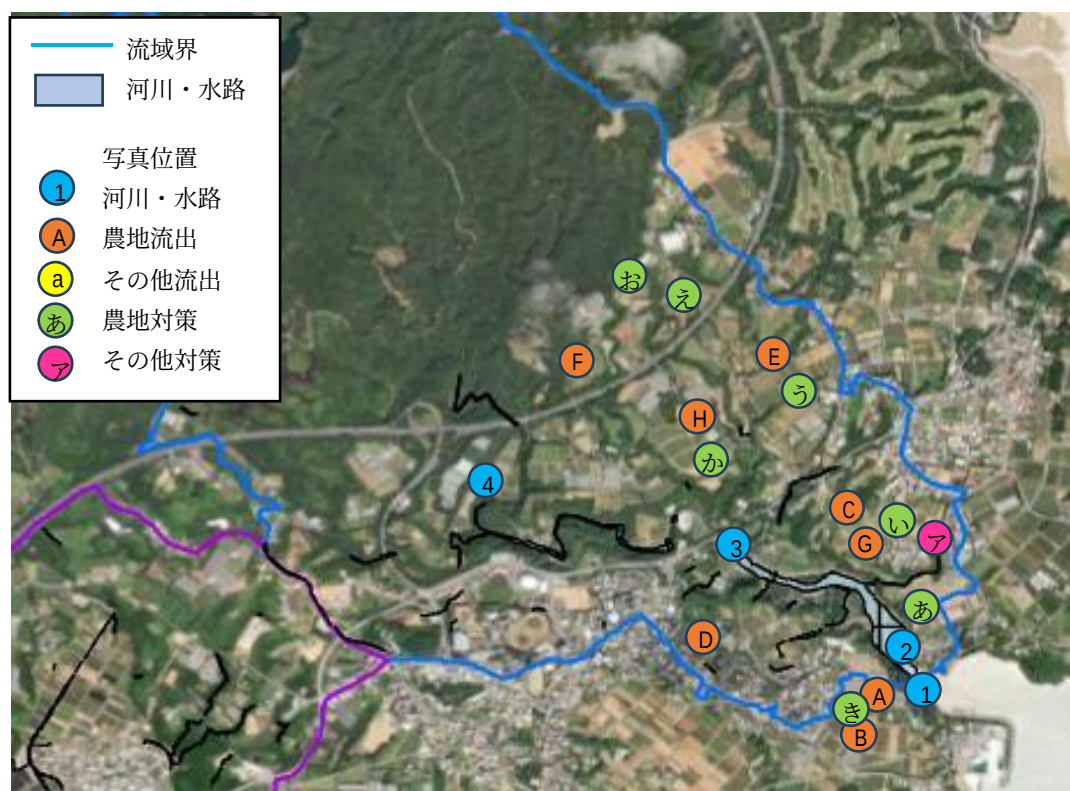
調査前日までの
降雨状況



調査日当日の

降雨状況

終日の合計で 53mmの雨が降っていた



＊衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

宜野座福地川河口 第1回現地調査（2023年 6月 15日実施）	
調査日には終日の合計で53mmの雨が降っていた為降雨時として調査実施	
河口、河川状況等	
1	河川河口域において、わずかな濁り（濁度3.8(度)）が確認された。
2	河川中流域において、わずかに濁りが確認された。
3	河川中流域において、わずかな濁り（濁度1.5(度)）が確認された。
4	流域内の水路において、わずかな濁り（濁度5.2(度)）が確認された。
流出情報等	
・農地	
A,B,G	農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。
C,D,E,F	農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
H	農地から落差工を経由した水路への流出が確認された。（濁度6.7(度)）
流出防止対策等	
・農地	
あい	土地改良されており、石積されている
う	裸地に葉ガラがまかされている
えお かき ベチパーが植えられた痕跡が見られる	
・その他	
帯水はみられず、沈砂池に草木が茂っていることから土砂が堆積していると推察される。	

宜野座福地川河口 第1回現地調査（2023年 6月 15日実施）		
調査日には終日の合計で53mmの雨が降っていた為降雨時として調査実施		
		
1. 河川河口域の状況 (濁りわずか)	1. 河川河口域の状況 (濁度38度))	2. 河川中流域の状況 (濁りわずか)
		
3. 河川中流域の状況 (濁りわずか)	3. 採水の状況 (濁度15度))	4. 水路より採水 (濁度52度))
		
A. 農地から道路や側溝へ 赤土等の流出	B. 農地から道路や側溝へ 赤土等の流出	C. 農地から道路へ 赤土等の流出
		
C. 農地から道路へ 赤土等の流出	D. 農地から道路へ 赤土等の流出	E. 農地から道路へ 赤土等の流出
		
F. 農地から道路へ 赤土等の流出	G. 農地から道路や側溝へ 赤土等の流出	H. 農地から道路や側溝へ 赤土等の流出 (濁度6.7度))

宜野座福地川河口 第1回現地調査（2023年 6月 15日実施）		
調査日には終日の合計で53mmの雨が降っていた為降雨時として調査実施		
		
あ. 石積をしている	あ. 石積と落差工	い. 石積をしている
		
う. 裸地に葉ガラがまかれている	え. ベチパーが植えられている	お. ベチパーが植えられている
		
お. ベチパーが植えられている	か. ベチパーやネットによる対策	き. ベチパーが植えられている
		
ア. 沈砂池 (オーバーフローなし)		

5.2.4 轟川流域(白保)

広大なサトウキビ畑が広がっており、赤土等流出防止対策についても様々な種類がみられた。

調査当日はあまり雨が降っていなかったため河川における濁水はあまりみられなかったが、道路上に赤土等の流出痕が多くみられたことから、畑地からの流入は多いと考えられる。

調査結果詳細を5.2-21～5.2-26 ページにて示す。

石垣島東南 轟川流域

流域内状況

本流域は、轟川の流域を主とする流域であり、石垣島の石垣市白保に位置する。

流域内では、サトウキビ畑を主とする農地が広がっている。農地を対象とした県営水質保全対策事業（耕土流出防止型）等の対象となっており、近年沈砂池や排水路等の整備が活発に行われている。また、沖縄の自然環境保全に配慮した農業活性化事業等によってグリーンベルトの設置等も行われている。

流域位置図



流域写真



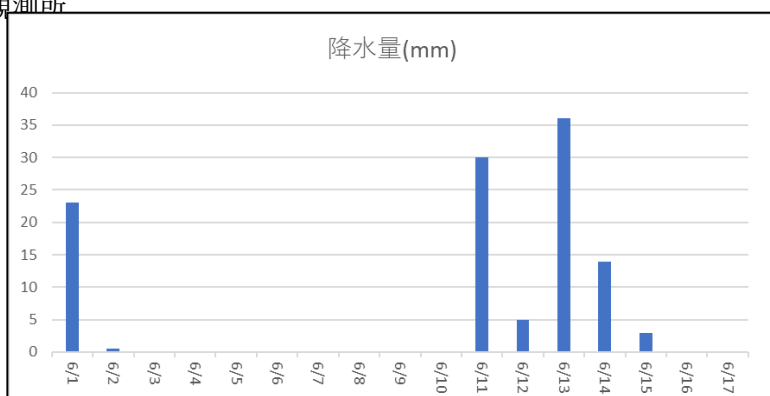
＊衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

石垣島東南 轟川流域

第1回現地調査（2023年6月16日実施）

降雨状況 盛山観測所

調査前日までの
降雨状況

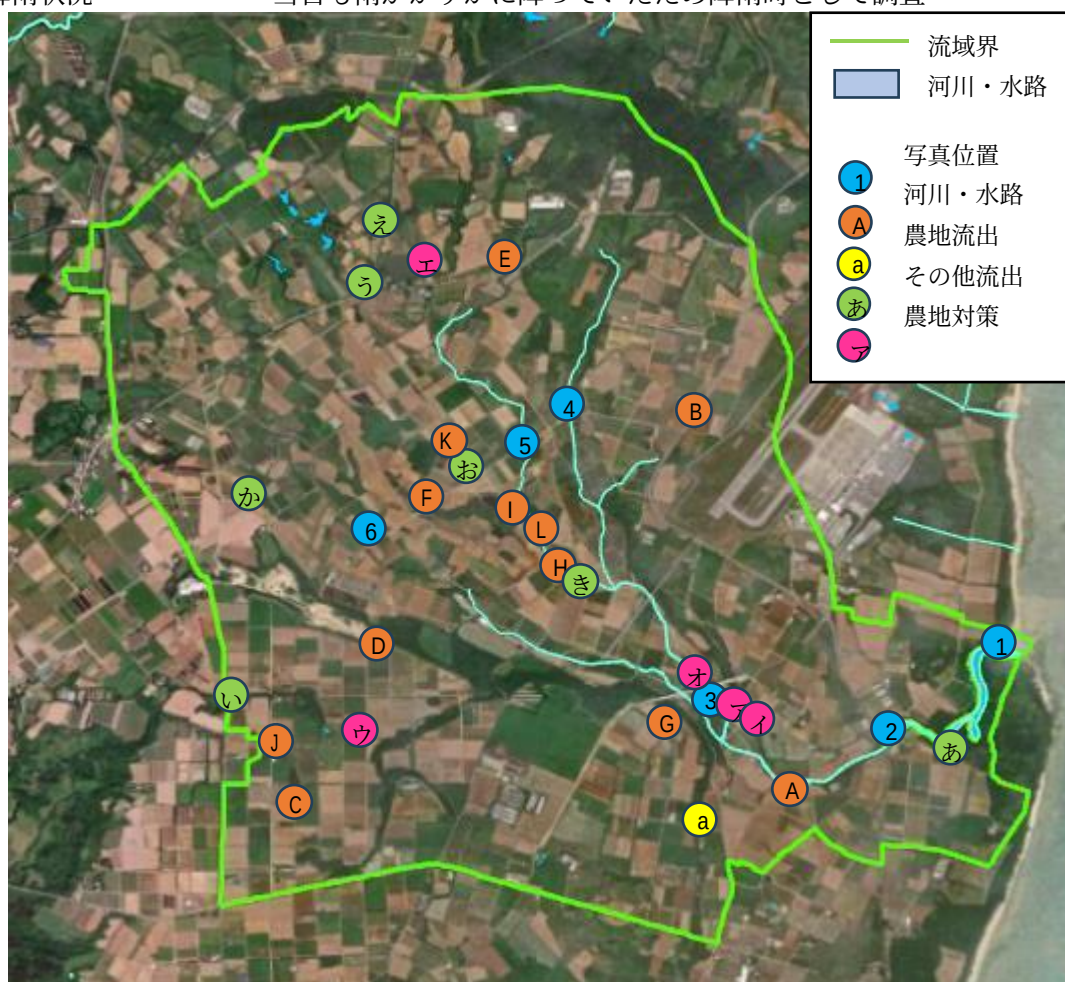


調査日当日の

観測データとしては表示されていないが、前日まで数日間降雨が続き

降雨状況

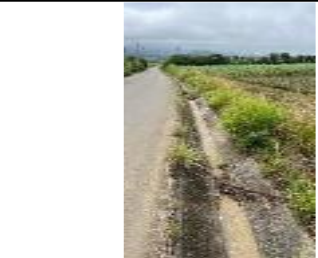
当日も雨がかすかに降っていたため降雨時として調査



＊衛星写真の撮影日は現地調査日以前であるため、本調査日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

石垣島東南 轟川流域 第1回現地調査（2023年 6月 16日実施）	
調査日には降雨はわずかであったが前日まで連日雨が降っていた為降雨時として調査実施	
河口、河川状況等	
1	河川河口域において、濁りは確認されなかった。（濁度0.2(度)）
2	河川の下流域において濁りは確認されなかった。
3	河川中流域において、濁りは確認されなかった。
4	河川上流域において、濁りは確認されなかった。
5	河川上流域において、濁りは確認されなかった。
6	河川上流域において、濁りは確認されなかった。
流出情報等	
・農地	
A,C, B,D,E,F,G,	農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。 農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
H,I,J,K,L	
・その他	
a	不耕作地区より流出が確認された。
流出防止対策等	
・農地	
あ	農地内にくぼみを作り沈砂池を作っている。
い え か	グリーンベルトを植えている。
う	境界に砂利を積んで流出を防いでいる。
お	縄を境界に置き流出を防いでいる。
き	葉ガラ梱包を設置している。
・その他	
アイ	水制工でワンドを作成し、沈砂の役割をもたらししているように見える。
ウ	集水枡に土砂が堆積していた。
エ オ	沈砂池において濁りやオーバーフローは確認されなかった。

石垣島東南 轟川流域 第1回現地調査（2023年 6月 16日実施）		
調査日には降雨はわずかであったが前日まで連日雨が降っていた為降雨時として調査実施		
		
1. 河川河口域の状況 (濁り無し)	1. 河川河口域の採水状況 (濁度0.2度))	2 河川下流域の状況 (濁り無し)
		
3 河川中流域の状況 (濁り無し)	4 河川上流域の状況 (濁り無し)	5 河川上流域の状況 (濁り無し)
		
6 河川上流域の状況 (濁り無し)	A. 農地から道路や側溝へ 赤土等の流出	A. 農地から道路や側溝へ 赤土等の流出
		
B. 農地から道路へ 赤土等の流出	C. 農地から道路や側溝へ 赤土等の流出	D. 農地から道路へ 赤土等の流出
		
E 農地から道路へ 赤土等の流出	F 農地から道路へ 赤土等の流出	G 農地から道路へ 赤土等の流出

石垣島東南 轟川流域 第1回現地調査（2023年 6月 16日実施）		
調査日には降雨はわずかであったが前日まで連日雨が降っていた為降雨時として調査実施		
		
H. 農地から道路へ 赤土等の流出	I. 農地から道路へ 赤土等の流出	J. 農地から道路へ 赤土等の流出
		
K. 農地から道路へ 赤土等の流出	L. 農地から道路へ 赤土等の流出	a. 不耕作地域より流出
		
あ. 農地内に沈砂池を作成	い. グリーンベルト	う. 境界に砂利を積んでいる
		
え. グリーンベルト	お. 縄で流出を防いでいる	か. グリーンベルト
		
き. 葉ガラ梱包	ア. ワンド	イ. 水制工

石垣島東南 轟川流域 第1回現地調査（2023年 6月 16日実施）		
調査日には降雨はわずかであったが前日まで連日雨が降っていた為降雨時として調査実施		
		
ウ. 集水枡の状況 (帯水あり、土砂堆積)	エ. 沈砂池の状況 (オーバーフロー無、濁り無)	オ. 沈砂池の状況 (オーバーフロー無、濁り無)

5.3 第2回調査

地籍図における農地一筆ごとに栽培種情報および営農対策の実施件数を目測で調査し、それを基に栽培種ごとの対策実施割合等を求めた。

また、対策区分の判定方法を表 5.3-1 に示す。

表 5.3-1 対策区分ごと判定基準

植栽グリーンベルト	ベチバーや月桃など耕作地の端に植えられているものを対象とした。
樹木	耕作地の端に樹木が生えている箇所を対象とした。
自然植生	耕作地から道路等までの間に植物が茂っており、流出痕があまり見られないものを対象とした。
畦畔	耕作地が窪んでいる箇所や盛り土で周囲を囲っている箇所も対象とした。
ケアマット	猪垣下部に張り付けられた植物性のマットを対象とした。
葉ガラ梱包	耕作地の端に残っているものを対象とした。
ブロック等	コンクリートブロックなどを道路との境目に敷いている箇所や、土地改良事業で周囲が石垣等に囲われているものも対象とした。
全面マルチ	耕作地が葉ガラやビニルなどで全体的に覆われている箇所を対象とした。
部分マルチ	耕作地のうち作物周辺だけが葉ガラやビニルで覆われている箇所等を対象とした。
対策無	赤土等の流出を防止する対策が見られない箇所を対象とした。

5.3.1 古島川流域

古島川流域において令和 5 年 12 月 6 日及び令和 5 年 12 月 7 日に調査を実施した。

調査結果集計を表 5.3.1-1 に、調査地を図 5.3.1-1～図 5.3.1-3 に、調査結果詳細を表 5.3.1-2 に、確認農地例を図 5.3.1-2 に示す。

全体で 154 件の農地を確認し、そのうち 113 件がサトウキビ畑等の調査対象農地であった。調査対象農地のうち、対策が確認された農地は 73 件（65%）であった。対象農地のうち末端対策に限ると 78 件（69%）、自然植生を除く末端対策に限ると 47 件（42%）となった。また、マルチングによる対策が確認された農地は 6 件（6%）であった。

この地域では、一筆あたりの面積が大きいために同農地筆内で作物がわかれている畑地や対策も部分的になっている畑地が多くあった。また、人為的ではない対策としては、畑の斜面下方向に森林地帯の自然植生や樹木が茂っているものが多い。

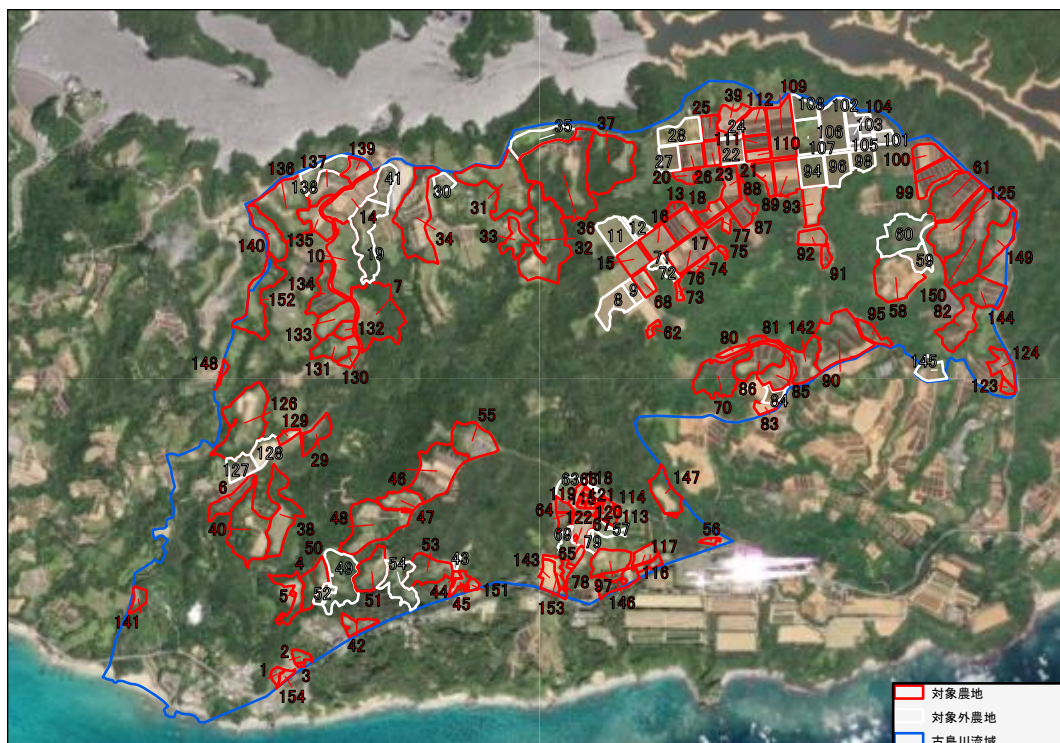
獣害対策のための柵の設置が優先され余剰スペースがないことや、パイナップル植え付け前の除草剤の散布で枯らさないように気を遣うことから、グリーンベルトはパイナップル農家に受け入れられにくい状況となっている。

かわりとして、柵の下部に張り付ける「ケアマット」という対策が多く実施されている。

表 5.3.1-1 調査結果集計(古島川流域)

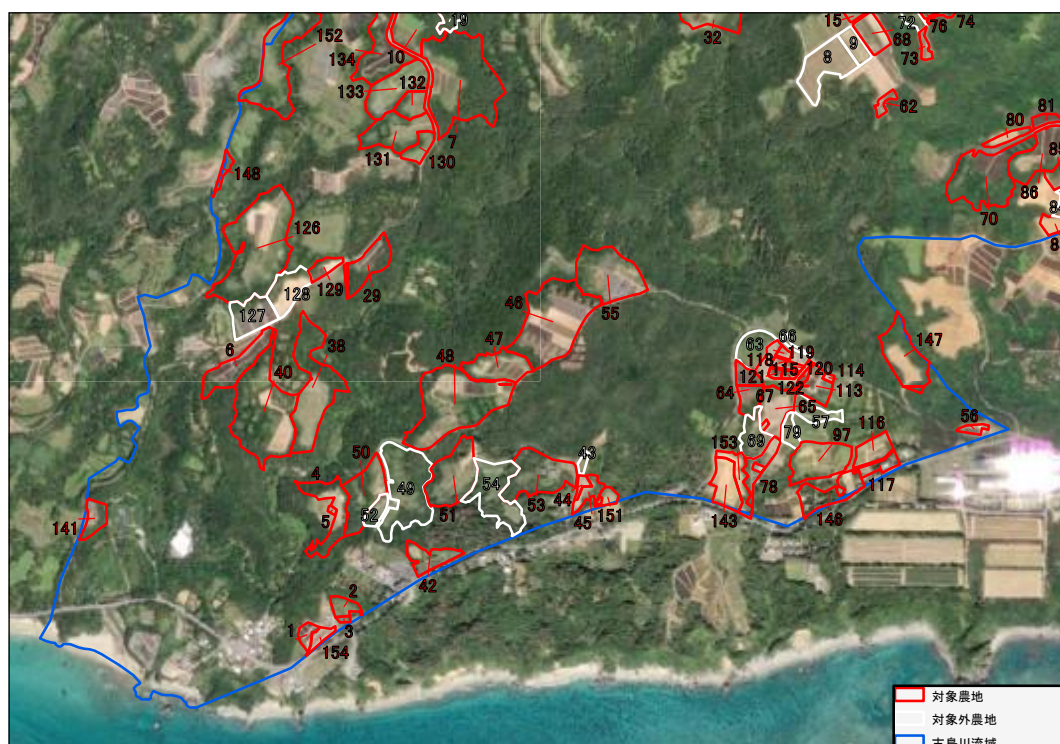
		件数	対策確認農地	対策確認農地 内訳									対策無し農地	対策割合	実施割合 内訳			
				グリーンベルト等末端対策実施状況							マルチング実施状況				末端割合	自然植生除く 末端割合	マルチング	
				植栽グリーンベルト	樹木	自然植生	畦畔	ケアマット	葉ガラ梱包	ブロック等	全面	部分						
調査対象農地	サトウキビ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%		
	パイナップル	100	63	19	15	24	2	7	0	1	5	0	37	66%	62%	40%	5%	
	果樹	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	100%	100%	0%	0%	
	野菜	10	7	2	1	4	0	0	0	0	1	0	3	73%	64%	27%	9%	
	菊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	
	花き	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	100%	100%	0%	0%	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	
	裸地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	
	小計	113	73		21	16	34	2	7	0	1	6	0	40	65%	69%	42%	5%
	計			7※自然植生を除く														
調査対象外農地	牧草地	5	調査対象外															
	水田	0																
	ハウス	7																
	不耕作地	29																
	計	41																

※複数対策が確認された農地もあるため対策確認農地内訳の合計と対策確認農地数は一致しない。



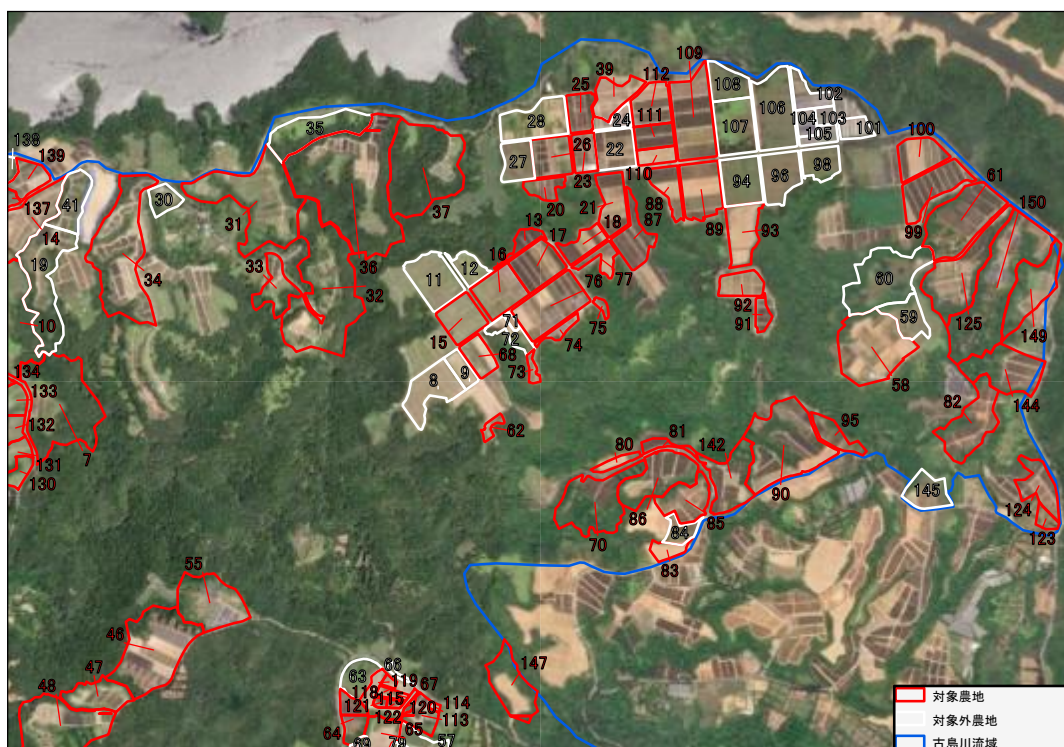
※地図上の数字は表 5.3.1-2 の各番号に対応した番号である。

図 5.3.1-1 調査農地(古島川流域)



※地図上の数字は表 5.3.1 2 の各番号に対応した番号である。

図 5.3.1-2 調査農地(古島川流域南西部)



※地図上の数字は表 5.3.1-2 の各番号に対応した番号である。

図 5.3.1-3 調査農地(古島川流域北東部)

表 5.3.1-2(1) 農地調査結果詳細(古島川流域)

番号	農地情報	対象	対策有無	対策状況
1	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
2	野菜	○	×	対策無
3	野菜	○	×	対策無
4	パイン	○	○	自然植生
5	野菜	○	○	自然植生
6	パイン	○	○	自然植生
7	パイン	○	○	全面マルチ
8	不耕作地	×	-	-
9	不耕作地	×	-	-
10	野菜	○	×	対策無
11	不耕作地	×	-	-
12	不耕作地	×	-	自然植生、樹木
13	パイン	○	×	対策無
14	パイン	○	○	自然植生
15	パイン	○	○	ブロック等
16	パイン	○	×	対策無
17	パイン	○	×	対策無
18	パイン	○	×	対策無
19	不耕作地	×	-	樹木
20	パイン	○	×	対策無
21	パイン	○	○	自然植生
22	不耕作地	×	-	-
23	パイン	○	○	自然植生
24	ハウス	×	-	-
25	パイン	○	○	畦畔、樹木
26	パイン	○	×	対策無
27	不耕作地	×	-	-
28	不耕作地	×	-	-
29	パイン	○	○	全面マルチ、ケアマット
30	不耕作地	×	-	自然植生
31	パイン	○	○	植栽グリーンベルト、ケアマット、樹木
32	パイン	○	○	自然植生
33	パイン	○	×	対策無
34	パイン	○	×	対策無
35	不耕作地	×	-	-
36	パイン	○	○	樹木
37	パイン	○	○	樹木
38	パイン	○	○	植栽グリーンベルト、ケアマット、全面マルチ
39	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
40	パイン	○	○	自然植生
41	不耕作地	×	-	自然植生
42	野菜	○	○	自然植生、植栽グリーンベルト
43	不耕作地	×	-	-
44	パイン	○	○	樹木
45	パイン	○	×	対策無
46	パイン	○	○	樹木
47	パイン	○	○	樹木、植栽グリーンベルト
48	パイン	○	○	樹木
49	不耕作地	×	-	-
50	パイン	○	○	自然植生
51	パイン	○	×	対策無
52	不耕作地	×	-	-
53	野菜	○	○	自然植生
54	不耕作地	×	-	-
55	パイン	○	○	樹木
56	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
57	不耕作地	×	-	-
58	野菜	○	○	樹木
59	不耕作地	×	-	-
60	不耕作地	×	-	-
61	パイン	○	○	自然植生
62	パイン	○	○	自然植生
63	不耕作地	×	-	対策無
64	パイン	○	○	樹木
65	パイン	○	○	自然植生
66	不耕作地	×	-	-
67	パイン	○	×	対策無
68	パイン	○	×	対策無
69	不耕作地	×	-	-
70	果樹	○	○	自然植生
71	不耕作地	×	-	-

表 5.3.1-2(2) 農地調査結果詳細(古島川流域)

番号	農地情報	対象	対策有無	対策状況
81	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
82	パイン	○	×	対策無
83	パイン	○	○	ケアマット
84	不耕作地	×	-	-
85	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
86	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
87	パイン	○	○	自然植生
88	パイン	○	×	対策無
89	パイン	○	×	対策無
90	パイン	○	○	自然植生
91	パイン	○	○	自然植生
92	パイン	○	○	自然植生
93	パイン	○	○	樹木
94	牧草地	×	-	樹木
95	パイン	○	○	自然植生
96	牧草地	×	-	対策無
97	パイン	○	×	対策無
98	牧草地	×	-	対策無
99	パイン	○	×	対策無
100	パイン	○	×	対策無
101	ハウス	×	-	-
102	ハウス	×	-	-
103	ハウス	×	-	-
104	ハウス	×	-	-
105	ハウス	×	-	-
106	牧草地	×	-	対策無
107	不耕作地	×	-	-
108	牧草地	×	-	自然植生
109	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
110	パイン	○	×	対策無
111	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
112	パイン	○	○	植栽グリーンベルト、ケアマット
113	パイン	○	×	対策無
114	野菜	○	○	自然植生
115	パイン	○	×	対策無
116	パイン	○	×	対策無
117	パイン	○	×	対策無
118	パイン	○	×	対策無
119	パイン	○	×	対策無
120	パイン	○	×	対策無
121	パイン	○	×	対策無
122	パイン	○	×	対策無
123	花き	○	○	自然植生
124	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
125	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
126	パイン	○	○	自然植生
127	ハウス	×	-	植栽グリーンベルト
128	不耕作地	×	-	樹木
129	パイン	○	×	対策無
130	パイン	○	×	対策無
131	パイン	○	○	全面マルチ
132	パイン	○	○	植栽グリーンベルト、ケアマット
133	パイン	○	○	自然植生
134	パイン	○	○	自然植生
135	パイン	○	×	対策無
136	パイン	○	○	全面マルチ
137	パイン	○	○	樹木
138	不耕作地	×	-	-
139	パイン	○	○	自然植生
140	野菜	○	○	全面マルチ
141	パイン	○	×	対策無
142	パイン	○	×	対策無
143	パイン	○	○	樹木
144	パイン	○	○	自然植生
145	不耕作地	×	-	-
146	パイン	○	○	自然植生



対策実施例（グリーンベルト補栽）
地点No3 8



対策実施例（ケアマット）
地点No3 8



対策実施例（樹木）
地点No6 4



対策実施例（全面マルチ集ガラ）
地点No2 9



対策実施例（グリーンベルト自然植生）
地点No4 2



対策未実施例
地点No7 5



対策未実施例
地点No1 5

図 5.3.1-4 確認農地例(古島川流域)

5.3.2 漢那中港川流域

漢那中港川流域において令和5年11月30日に調査を実施した。

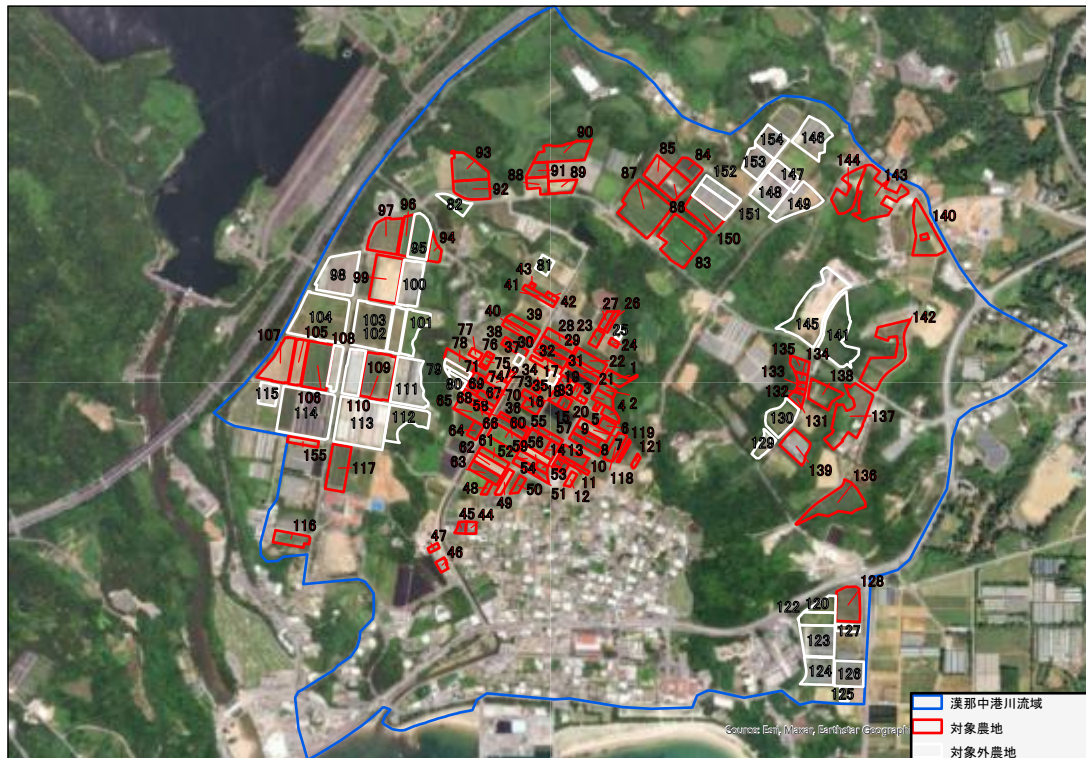
調査結果集計を表5.3.2-1に、調査地を図5.3.2-1～図5.3.2-2に、調査結果詳細を表5.3.2-2に、確認農地例を図5.3.2-2に示す。

全体で155件の農地を確認し、そのうち115件がサトウキビ畑等の調査対象農地であった。調査対象農地のうち、対策が確認された農地は52件(45%)であった。対象農地のうち末端対策に限ると42件(37%)、自然植生を除く末端対策に限ると27件(23%)となった。また、マルチングによる対策が確認された農地は10件(9%)であった。

サトウキビ畑について、道路に接している地点では末端対策は少なかった。環境コーディネーターいわく、サトウキビ収穫後は葉ガラでマルチングを行っている場所も多く、3月から6月頃までに緑肥を用いたところもあるらしいが、今回は調査時期が悪くあまり確認できなかった。

表 5.3.2-1 調査結果集計(漢那中港川流域)

		件数	対策確認農地	対策確認農地 内訳										対策無し農地	対策割合	実施割合 内訳			
				グリーンベルト等末端対策実施状況							マルチング実施状況					末端割合	自然植生除く 末端割合	マルチング	
				植栽グリーンベルト	樹木	自然植生	畦畔	ケアマット	葉ガラ梱包	ブロック等	全面	部分							
調査 対象 農地	サトウキビ	85	28	8	3	11	0	0	0	0	2	0	4	57	33%	28%	15%	5%	
	パイナップル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	
	果樹	4	4	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	100%	0%	0%	0%	100%	
	野菜	24	19	8	4	4	0	0	0	0	1	1	6	75%	67%	50%	8%		
	菊	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	100%	100%	100%	0%		
	花き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	
	裸地	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	100%	100%	100%	0%	
	小計	115	52	16	8	15	0	0	0	3	4	6	63	45%	37%	23%	9%		
	計			42(自然植生を除く27)															
調査 対象 外農地	牧草地	4	調査対象外																
	水田	0																	
	ハウス	19																	
	不耕作地	17																	
	計	40																	



※地図上の数字は表 5.3.2-2 の各番号に対応した番号である。

図 5.3.2-1 調査農地(漢那中港川流域)



※地図上の数字は表 5.3.2 2 の各番号に対応した番号である。

図 5.3.2-2 調査農地(漢那中港川流域中央部)

表 5.3.2-2(1) 農地調査結果詳細(漠那中港川流域)

番号	農地情報	対象	対策有無	対策状況
1	野菜	○	○	植栽グリーンベルト
2	サトウキビ	○	○	自然植生
3	サトウキビ	○	○	自然植生
4	野菜	○	×	対策無
5	サトウキビ	○	×	対策無
6	サトウキビ	○	×	対策無
7	サトウキビ	○	○	自然植生
8	サトウキビ	○	○	自然植生
9	サトウキビ	○	○	自然植生
10	サトウキビ	○	×	対策無
11	サトウキビ	○	×	対策無
12	サトウキビ	○	×	対策無
13	サトウキビ	○	×	対策無
14	サトウキビ	○	×	対策無
15	野菜	○	○	樹木
16	サトウキビ	○	×	対策無
17	サトウキビ	○	×	対策無
18	サトウキビ	○	×	対策無
19	サトウキビ	○	×	対策無
20	裸地	○	○	ブロック等
21	サトウキビ	○	×	対策無
22	サトウキビ	○	×	対策無
23	サトウキビ	○	×	対策無
24	サトウキビ	○	×	対策無
25	不耕作地	×	-	対策無
26	サトウキビ	○	×	対策無
27	サトウキビ	○	×	対策無
28	野菜	○	○	自然植生
29	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
30	野菜	○	×	対策無
31	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
32	野菜	○	○	自然植生
33	不耕作地	×	-	植栽グリーンベルト
34	サトウキビ	○	×	対策無
35	サトウキビ	○	○	部分マルチ
36	サトウキビ	○	○	部分マルチ
37	不耕作地	×	-	植栽グリーンベルト
38	サトウキビ	○	×	対策無
39	菊	○	○	樹木
40	野菜	○	×	対策無
41	サトウキビ	○	○	ブロック等
42	野菜	○	○	植栽グリーンベルト
43	サトウキビ	○	○	ブロック等
44	果樹	○	○	全面マルチ
45	果樹	○	○	全面マルチ
46	野菜	○	○	部分マルチ
47	サトウキビ	○	×	対策無
48	野菜	○	○	樹木
49	サトウキビ	○	×	対策無
50	サトウキビ	○	×	対策無
51	サトウキビ	○	×	対策無
52	果樹	○	○	部分マルチ
53	野菜	○	○	全面マルチ
54	サトウキビ	○	×	対策無
55	サトウキビ	○	×	対策無
56	サトウキビ	○	×	対策無
57	サトウキビ	○	×	対策無
58	サトウキビ	○	×	対策無
59	サトウキビ	○	×	対策無
60	野菜	○	○	植栽グリーンベルト
61	サトウキビ	○	×	対策無
62	サトウキビ	○	×	対策無
63	サトウキビ	○	×	対策無
64	サトウキビ	○	×	対策無
65	サトウキビ	○	×	対策無
66	サトウキビ	○	×	対策無
67	サトウキビ	○	×	対策無
68	サトウキビ	○	×	対策無
69	サトウキビ	○	×	対策無
70	サトウキビ	○	×	対策無
71	サトウキビ	○	×	対策無

表 5.3.2-2(2) 農地調査結果詳細(漠那中港川流域)

番号	農地情報	対象	対策有無	対策状況
81	不耕作地	×		
82	不耕作地	×	-	植栽グリーンベルト
83	野菜	○	○	植栽グリーンベルト
84	サトウキビ	○	○	樹木
85	サトウキビ	○	○	部分マルチ
86	野菜	○	○	自然植生
87	サトウキビ	○	○	樹木
88	野菜	○	○	植栽グリーンベルト
89	野菜	○	○	樹木
90	サトウキビ	○	×	対策無
91	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
92	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
93	サトウキビ	○	×	対策無
94	サトウキビ	○	○	自然植生
95	牧草地	×	-	自然植生
96	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
97	サトウキビ	○	×	対策無
98	ハウス	×	-	-
99	サトウキビ	○	○	自然植生
100	ハウス	×		
101	不耕作地	×		
102	不耕作地	×	-	-
103	牧草地	×	-	ブロック等
104	不耕作地	×	-	-
105	野菜	○	○	植栽グリーンベルト
106	サトウキビ	○	○	自然植生
107	野菜	○	○	植栽グリーンベルト
108	ハウス	×		
109	ハウス	×	-	-
110	野菜	○	○	自然植生
111	ハウス	×	-	自然植生
112	不耕作地	×	-	-
113	ハウス	×	-	-
114	ハウス	×		対策無
115	ハウス	×	-	-
116	サトウキビ	○	○	自然植生
117	サトウキビ	○	○	自然植生
118	果樹	○	○	全面マルチ
119	サトウキビ	○	×	対策無
120	不耕作地	×		
121	野菜	○	×	対策無
122	不耕作地	×	-	-
123	ハウス	×	-	-
124	ハウス	×	-	-
125	不耕作地	×	-	-
126	ハウス	×	-	-
127	不耕作地	×		
128	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
129	不耕作地	×	-	自然植生
130	不耕作地	×	-	対策無
131	サトウキビ	○	×	対策無
132	サトウキビ	○	×	対策無
133	サトウキビ	○	×	対策無
134	サトウキビ	○	×	対策無
135	サトウキビ	○	×	対策無
136	サトウキビ	○	×	対策無
137	サトウキビ	○	○	樹木
138	野菜	○	×	対策無
139	野菜	○	○	樹木
140	サトウキビ	○	○	自然植生
141	牧草地	×		
142	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
143	野菜	○	○	植栽グリーンベルト
144	サトウキビ	○	×	対策無
145	牧草地	×	-	-
146	ハウス	×		



対策実施例（グリーンベルト補栽）
地点No.1 7



対策実施例（樹木）
地点No.1 5



対策実施例（樹木）
地点No.3 9



対策実施例（全面マルチ集ガラ、ビニル）
地点No.5 3



対策実施例（部分マルチビニル）
地点No.4 6



対象外農地（ハウス）
地点No.1 4



対象外農地（牧草地）
地点No.9 5

図 5.3.2-3 確認農地例(漢那中港川流域)

5.3.3 宜野座福地川流域

宜野座福地川流域において令和５年12月１日に調査を実施した。

調査結果集計を表 5.3.3-1 に、調査地を図 5.3.3-1～図 5.3.3-3 に、調査結果詳細を表 5.3.3-2 に、確認農地例を図 5.3.3-2 に示す。

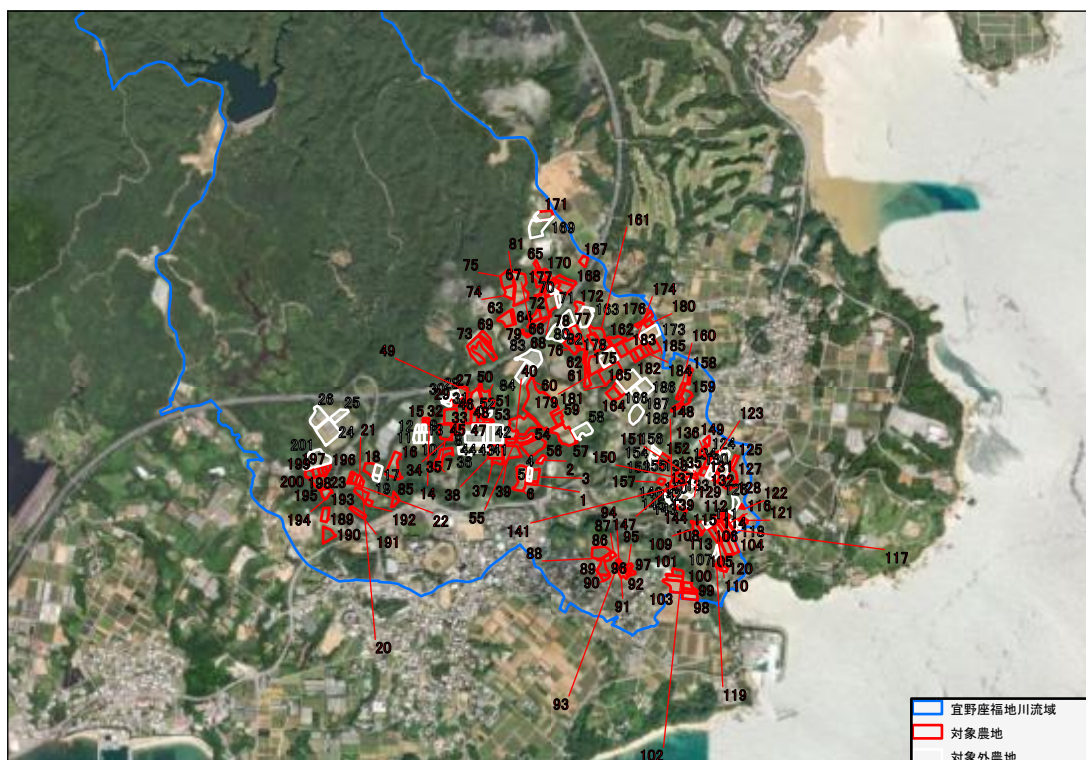
全体で 201 件の農地を確認し、そのうち 145 件がサトウキビ畑等の調査対象農地であった。調査対象農地のうち、対策が確認された農地は 81 件（56%）であった。対象農地のうち末端対策に限ると 64 件（44%）、自然植生を除く末端対策に限ると 49 件（34%）となった。また、マルチングによる対策が確認された農地は 17 件（12%）であった。

環境コーディネーターいわく、サトウキビ収穫後は葉ガラでマルチングを行っている場所も多く、3月から6月頃までに緑肥を用いたところもあるらしいが今回は調査時期が悪くあまり確認できなかった。

また、勾配修正等の土地改良が行われた畑地が多く、畑の周囲がブロックで囲まれているサトウキビ畑も多かった。

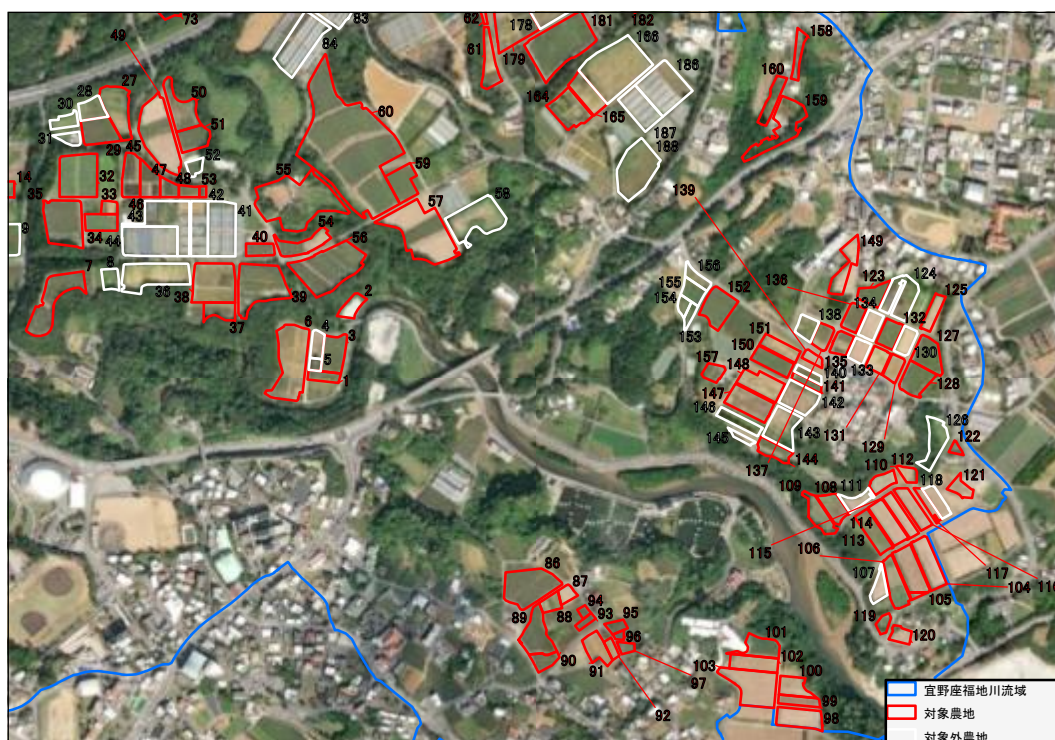
表 5.3.3-1 調査結果集計(宜野座福地川流域)

		件数	対策確認農地	対策確認農地 内訳										対策無し農地	対策割合	実施割合 内訳		
				グリーンベルト等末端対策実施状況								マルチング実施状況				末端割合	自然植生除く 末端割合	マルチング
				植栽グリーンベルト	樹木	自然植生	畦畔	ケアマット	葉ガラ類似	ブロック等	全面	部分						
調査対象農地	サトウキビ	89	39	2	3	9	1	0	0	24	0	0	50	44%	44%	34%	0%	
	パイナップル	17	12	4	4	2	0	0	0	0	2	0	5	71%	59%	47%	12%	
	果樹	9	6	0	2	1	2	0	0	0	1	0	3	67%	56%	44%	11%	
	野菜	28	22	0	4	1	0	0	0	3	13	1	6	79%	29%	25%	50%	
	菊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	
	花き	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	100%	100%	0%	0%	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	
	裸地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	
	小計	145	81	6	13	15	4	0	0	27	14	1	64	56%	44%	34%	12%	
	計			64自然植生を除く49														
調査対象外農地	牧草地	3	調査対象外															
	水田	1																
	ハウス	12																
	不耕作地	40																
	計	56																



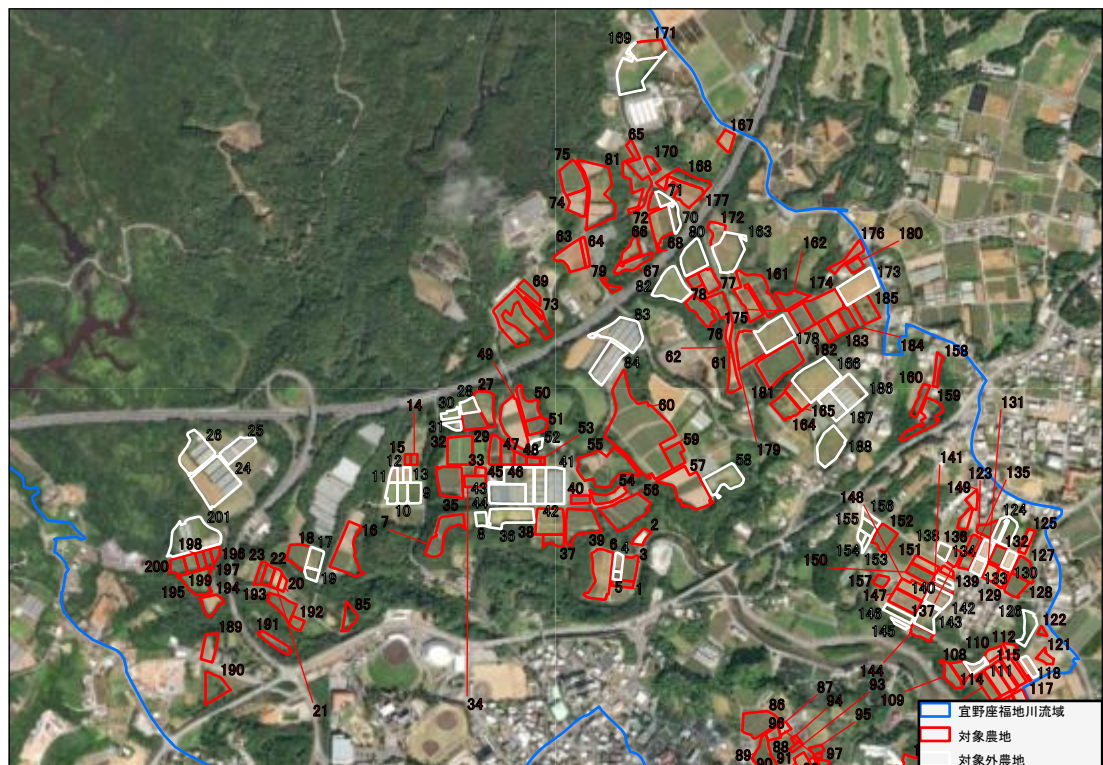
※地図上の数字は表 5.3.3-2 の各番号に対応した番号である。

図 5.3.3-1 調査農地(宜野座福地川流域)



※地図上の数字は表 5.3.3 2 の各番号に対応した番号である。

図 5.3.3-2 調査農地(宜野座福地川流域南東部)



※地図上の数字は表 5.3.3 2 の各番号に対応した番号である。

図 5.3.3-3 調査農地(宜野座福地川流域北西部)

表 5.3.3-2(1) 農地調査結果詳細(宜野座福地川流域)

番号	農地情報	対象	対策有無	対策状況
1	サトウキビ	○	×	対策無
2	果樹	○	×	対策無
3	サトウキビ	○	×	対策無
4	不耕作地	×	-	-
5	不耕作地	×	-	-
6	パイン	○	×	対策無
7	サトウキビ	○	×	対策無
8	不耕作地	×	-	対策無
9	不耕作地	×		
10	不耕作地	×		
11	不耕作地	×	-	-
12	不耕作地	×	-	-
13	不耕作地	×	-	-
14	サトウキビ	○	○	自然植生
15	サトウキビ	○	×	対策無
16	サトウキビ	○	×	対策無
17	不耕作地	×		
18	サトウキビ	○	×	対策無
19	不耕作地	×	-	-
20	野菜	○	×	対策無
21	野菜	○	×	対策無
22	野菜	○	×	対策無
23	野菜	○	○	全面マルチ
24	ハウス	×		
25	ハウス	×	-	-
26	ハウス	×	-	-
27	果樹	○	○	全面マルチ
28	不耕作地	×	-	-
29	サトウキビ	○	○	自然植生
30	不耕作地	×		
31	不耕作地	×		
32	野菜	○	○	全面マルチ
33	サトウキビ	○	×	対策無
34	野菜	○	○	全面マルチ
35	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
36	不耕作地	×	-	-
37	サトウキビ	○	×	対策無
38	パイン	○	○	自然植生
39	サトウキビ	○	○	自然植生
40	サトウキビ	○	○	自然植生
41	ハウス	×	-	-
42	ハウス	×	-	-
43	ハウス	×	-	-
44	ハウス	×		
45	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
46	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
47	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
48	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
49	サトウキビ	○	×	対策無
50	サトウキビ	○	×	対策無
51	サトウキビ	○	×	対策無
52	不耕作地	×		
53	パイン	○	○	樹木
54	サトウキビ	○	×	対策無
55	サトウキビ	○	×	対策無
56	サトウキビ	○	○	ブロック等
57	サトウキビ	○	×	対策無
58	不耕作地	×		
59	サトウキビ	○	○	樹木
60	サトウキビ	○	×	対策無
61	野菜	○	○	自然植生
62	パイン	○	×	対策無
63	野菜	○	○	全面マルチ
64	野菜	○	○	全面マルチ
65	果樹	○	×	対策無
66	パイン	○	×	対策無
67	サトウキビ	○	○	自然植生
68	パイン	○	○	樹木
69	野菜	○	○	全面マルチ
70	不耕作地	×	-	-
71	不耕作地	×	-	-

表 5.3.3-2(2) 農地調査結果詳細(宜野座福地川流域)

番号	農地情報	対象	対策有無	対策状況
81	野菜	○	○	樹木
82	牧草地	×	-	-
83	ハウス	×	-	-
84	ハウス	×	-	-
85	野菜	○	×	対策無
86	サトウキビ	○	×	対策無
87	サトウキビ	○	×	対策無
88	野菜	○	○	全面マルチ
89	サトウキビ	○	×	対策無
90	サトウキビ	○	×	対策無
91	サトウキビ	○	×	対策無
92	サトウキビ	○	×	対策無
93	サトウキビ	○	×	対策無
94	サトウキビ	○	×	対策無
95	サトウキビ	○	×	対策無
96	野菜	○	○	全面マルチ
97	野菜	○	○	樹木
98	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
99	サトウキビ	○	○	ブロック等
100	野菜	○	○	樹木
101	サトウキビ	○	×	対策無
102	サトウキビ	○	×	対策無
103	サトウキビ	○	×	対策無
104	サトウキビ	○	○	ブロック等
105	サトウキビ	○	○	ブロック等
106	野菜	○	○	全面マルチ
107	不耕作地	×	-	-
108	サトウキビ	○	○	ブロック等
109	サトウキビ	○	○	ブロック等
110	花き	○	○	自然植生
111	不耕作地	×	-	-
112	花き	○	○	自然植生
113	サトウキビ	○	○	ブロック等
114	サトウキビ	○	○	ブロック等
115	サトウキビ	○	○	ブロック等
116	サトウキビ	○	○	ブロック等
117	サトウキビ	○	○	ブロック等
118	不耕作地	×	-	-
119	野菜	○	○	全面マルチ
120	サトウキビ	○	×	対策無
121	サトウキビ	○	×	対策無
122	野菜	○	×	対策無
123	サトウキビ	○	○	ブロック等
124	不耕作地	×	-	-
125	サトウキビ	○	○	自然植生
126	不耕作地	×	-	-
127	サトウキビ	○	○	ブロック等
128	サトウキビ	○	○	ブロック等
129	サトウキビ	○	○	ブロック等
130	不耕作地	×	-	-
131	サトウキビ	○	○	ブロック等
132	サトウキビ	○	○	自然植生
133	不耕作地	×	-	-
134	不耕作地	×	-	-
135	サトウキビ	○	○	ブロック等
136	サトウキビ	○	○	ブロック等
137	サトウキビ	○	○	ブロック等
138	不耕作地	×	-	-
139	サトウキビ	○	○	ブロック等
140	不耕作地	×	-	-
141	サトウキビ	○	○	ブロック等
142	不耕作地	×	-	-
143	不耕作地	×	-	ブロック等
144	サトウキビ	○	○	ブロック等
145	不耕作地	×	-	-
146	不耕作地	×	-	-
147	野菜	○	○	ブロック等
148	野菜	○	○	ブロック等
149	サトウキビ	○	×	対策無
150	サトウキビ	○	○	ブロック等
151	野菜	○	○	ブロック等

表 5.3.3-2(3) 農地調査結果詳細(宜野座福地川流域)

番号	農地情報	対象	対策有無	対策状況
161	パイン	○	○	樹木
162	サトウキビ	○	×	対策無
163	不耕作地	×	-	-
164	果樹	○	○	自然植生
165	パイン	○	○	全面マルチ
166	水田	×	-	対策無
167	パイン	○	×	対策無
168	サトウキビ	○	×	対策無
169	牧草地	×	-	対策無
170	果樹	○	×	対策無
171	パイン	○	○	自然植生
172	パイン	○	○	樹木
173	不耕作地	×	-	-
174	サトウキビ	○	×	対策無
175	野菜	○	○	全面マルチ
176	パイン	○	○	全面マルチ
177	サトウキビ	○	×	対策無
178	牧草地	×	-	対策無
179	パイン	○	×	対策無
180	サトウキビ	○	○	ブロック等
181	サトウキビ	○	○	自然植生
182	サトウキビ	○	×	対策無
183	サトウキビ	○	×	対策無
184	サトウキビ	○	×	対策無
185	果樹	○	○	樹木
186	ハウス	×	-	-
187	ハウス	×	-	-
188	不耕作地	×	-	-
189	サトウキビ	○	×	対策無
190	サトウキビ	○	×	対策無
191	野菜	○	○	全面マルチ
192	サトウキビ	○	×	対策無
193	サトウキビ	○	×	対策無
194	野菜	○	○	部分マルチ
195	野菜	○	○	樹木
196	サトウキビ	○	×	対策無



対策実施例（グリーンベルト植栽）
地点No9 8



対策実施例（グリーンベルト植栽）
地点No4 7



対策実施例（全面マルチ葉ガラ、ビニル）
地点No3 2



対策実施例（樹木）
地点No4 5



対策未実施例
地点No1 9

図 5.3.3-4 確認農地例(宜野座福地川流域)

5.3.4 轟川流域（白保）

轟川流域において令和 5 年 12 月 15 日及び令和 6 年 2 月 6 日～ 7 日に調査を実施した。

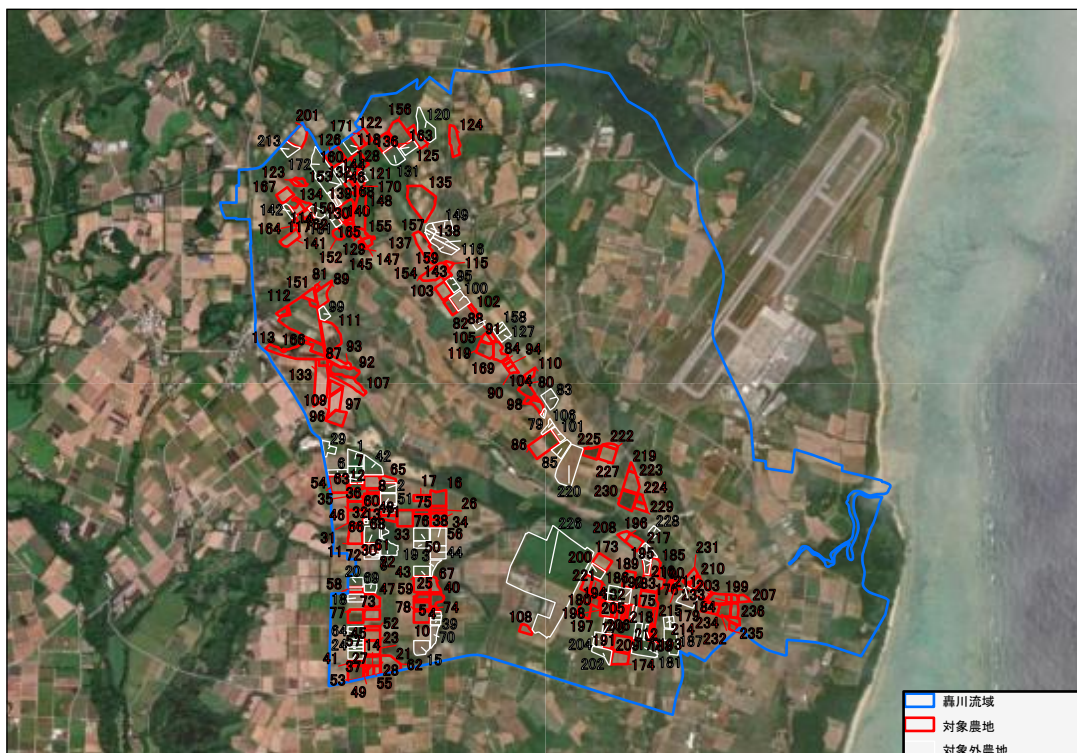
調査結果集計を表 5.3.4-1 に、調査地を図 5.3.4-1～図 5.3.4-3 に、調査結果詳細を表 5.3.4-2 に、確認農地例を図 5.3.4-2 に示す。

全体で 236 件の農地を確認し、そのうち 155 件がサトウキビ畑等の調査対象農地であった。調査対象農地のうち、対策が確認された農地は 63 件（41%）であった。対象農地のうち末端対策に限ると 50 件（32%）、自然植生を除く末端対策に限ると 35 件（23%）となった。また、マルチングによる対策が確認された農地は 13 件（8%）であった。

調査時期がサトウキビの収穫時期と重なっており、収穫後の葉ガラによるマルチングや葉ガラ梱包が多くみられた。

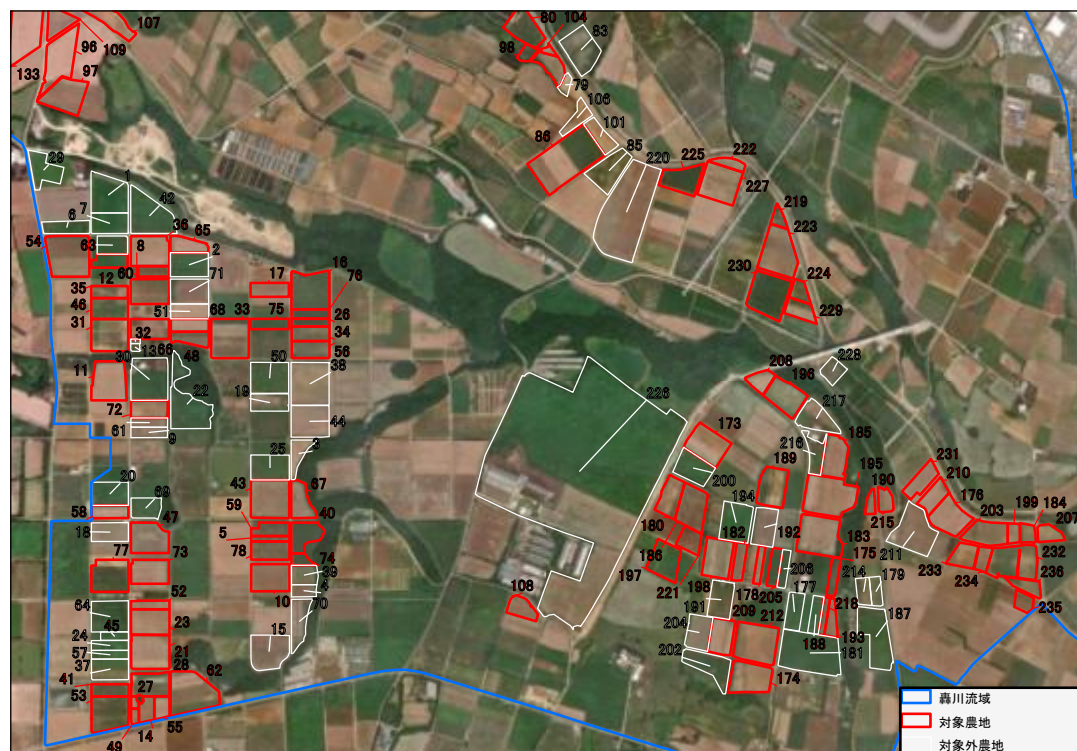
表 5.3.4-1 調査結果集計(轟川流域)

		件数	対策確認農地	対策確認農地 内訳										対策無し農地	対策割合	実施割合 内訳			
				グリーンベルト等末端対策実施状況								マルチング実施状況				末端割合	自然植生除く 末端割合	マルチング割合	
				植栽グリーンベルト	樹木	自然植生	畦畔	ケアマット	葉ガラ梱包	ブロック等		全面	部分						
調査対象農地	サトウキビ	128	54	10	8	14	0	0	8	2	12	0	74	42%	33%	22%	9%		
	パイナップル	12	5	3	1	0	0	0	0	0	0	1	7	42%	33%	33%	8%		
	果樹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%		
	野菜	9	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7	22%	22%	22%	0%		
	菊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%		
	花き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%		
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%		
	裸地	6	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	33%	33%	17%	0%		
小計	155	63	14	11	15	0	0	8	2	14	1	92	41%	32%	23%	8%			
調査対象外農地	計	81																	
調査対象外農地	牧草地	59	調査対象外																
	水田	5																	
	ハウス	2																	
	不耕作地	15																	
	計	81																	



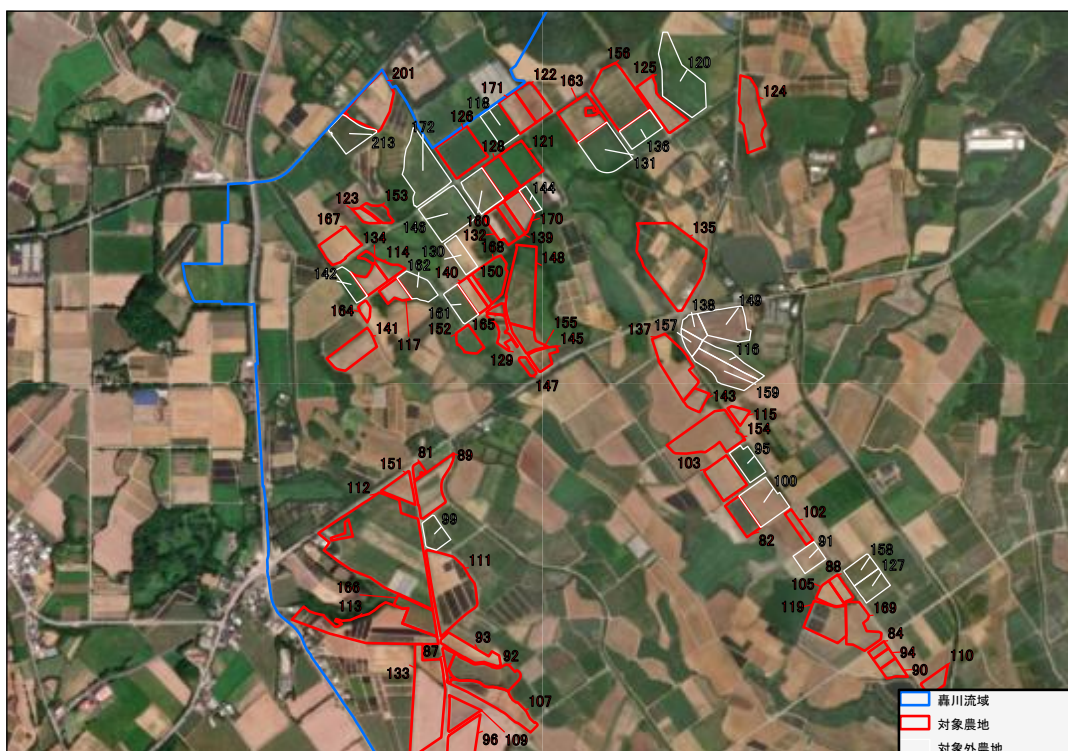
※地図上の数字は表 5.3.4-2 の各番号に対応した番号である。

図 5.3.4-1 調査農地(轟川流域)



※地図上の数字は表 5.3.4-2 の各番号に対応した番号である。

図 5.3.4-2 調査農地(轟川流域南部)



※地図上の数字は表 5.3.4-2 の各番号に対応した番号である。

図 5.3.4-3 調査農地(轟川流域北部)

表 5.3.4-2(1) 農地調査結果詳細(轟川流域)

番号	農地情報	対象	対策有無	対策状況
1	牧草地	×	-	対策無
2	牧草地	×		
3	不耕地	×		
4	不耕地	×	-	-
5	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
6	牧草地	×	-	対策無
7	牧草地	×	-	対策無
8	野菜	○	×	対策無
9	牧草地	×		自然植生
10	サトウキビ	○	×	対策無
11	サトウキビ	○	○	樹木
12	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
13	不耕地	×	-	-
14	サトウキビ	○	○	葉ガラ梱包
15	ハウス	×	-	-
16	サトウキビ	○	×	対策無
17	サトウキビ	○	○	全面マルチ
18	牧草地	×	-	部分マルチ
19	不耕地	×	-	-
20	牧草地	×	-	対策無
21	サトウキビ	○	×	対策無
22	牧草地	×	-	-
23	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
24	牧草地	×		対策無
25	牧草地	×	-	自然植生
26	サトウキビ	○	×	対策無
27	サトウキビ	○	○	葉ガラ梱包
28	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
29	牧草地	×	-	対策無
30	牧草地	×		樹木
31	野菜	○	×	対策無
32	不耕地	×	-	-
33	サトウキビ	○	×	対策無
34	サトウキビ	○	○	全面マルチ
35	サトウキビ	○	○	樹木
36	サトウキビ	○	○	全面マルチ
37	牧草地	×		対策無
38	不耕地	×		
39	不耕地	×	-	-
40	サトウキビ	○	×	対策無
41	サトウキビ	○	○	自然植生
42	牧草地	×	-	対策無
43	サトウキビ	○	○	全面マルチ
44	不耕地	×		
45	牧草地	×		対策無
46	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
47	サトウキビ	○	×	対策無
48	裸地	○	×	対策無
49	サトウキビ	○	○	葉ガラ梱包
50	牧草地	×		樹木
51	不耕地	×		
52	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
53	サトウキビ	○	×	対策無
54	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
55	サトウキビ	○	○	葉ガラ梱包
56	サトウキビ	○	○	全面マルチ
57	牧草地	×	-	対策無
58	サトウキビ	○	×	対策無
59	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
60	野菜	○	×	対策無
61	牧草地	×	-	自然植生
62	サトウキビ	○	○	全面マルチ
63	牧草地	×	-	対策無
64	牧草地	×	-	対策無
65	サトウキビ	○	×	対策無
66	野菜	○	×	対策無
67	野菜	○	×	対策無
68	サトウキビ	○	×	対策無
69	牧草地	×	-	対策無
70	ハウス	×	-	-
71	牧草地	×	-	対策無

表 5.3.4-2(2) 農地調査結果詳細(轟川流域)

番号	農地情報	対象	対策有無	対策状況
81	サトウキビ	○	×	対策無
82	サトウキビ	○	×	対策無
83	水田	×	-	-
84	サトウキビ	○	×	対策無
85	牧草地	×	-	対策無
86	サトウキビ	○	×	対策無
87	サトウキビ	○	×	対策無
88	サトウキビ	○	○	自然植生
89	サトウキビ	○	○	自然植生
90	野菜	○	×	対策無
91	牧草地	×	-	対策無
92	サトウキビ	○	×	対策無
93	サトウキビ	○	○	自然植生
94	サトウキビ	○	×	対策無
95	牧草地	×	-	-
96	サトウキビ	○	×	対策無
97	サトウキビ	○	○	全面マルチ
98	サトウキビ	○	×	対策無
99	水田	×	-	-
100	牧草地	×	-	対策無
101	牧草地	×	-	対策無
102	裸地	○	○	自然植生
103	サトウキビ	○	×	対策無
104	サトウキビ	○	×	対策無
105	サトウキビ	○	○	自然植生
106	不耕作地	×	-	-
107	パイン	○	○	樹木
108	サトウキビ	○	×	対策無
109	サトウキビ	○	×	対策無
110	サトウキビ	○	×	対策無
111	パイン	○	○	植栽グリーンベルト
112	サトウキビ	○	×	対策無
113	パイン	○	×	対策無
114	サトウキビ	○	×	対策無
115	サトウキビ	○	○	全面マルチ
116	牧草地	×	-	対策無
117	サトウキビ	○	×	対策無
118	牧草地	×	-	対策無
119	裸地	○	×	対策無
120	牧草地	×	-	対策無
121	サトウキビ	○	×	対策無
122	サトウキビ	○	×	対策無
123	パイン	○	×	対策無
124	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
125	サトウキビ	○	×	対策無
126	サトウキビ	○	×	対策無
127	水田	×	-	-
128	サトウキビ	○	×	対策無
129	サトウキビ	○	○	樹木
130	牧草地	×	-	対策無
131	牧草地	×	-	樹木
132	パイン	○	×	対策無
133	サトウキビ	○	○	自然植生
134	サトウキビ	○	×	対策無
135	パイン	○	×	対策無
136	牧草地	×	-	対策無
137	サトウキビ	○	○	自然植生
138	牧草地	×	-	対策無
139	サトウキビ	○	×	対策無
140	サトウキビ	○	×	対策無
141	サトウキビ	○	○	葉ガラ梱包
142	牧草地	×	-	対策無
143	サトウキビ	○	○	自然植生
144	不耕作地	×	-	-
145	サトウキビ	○	×	対策無
146	牧草地	×	-	樹木
147	サトウキビ	○	○	自然植生
148	サトウキビ	○	○	植栽グリーンベルト
149	牧草地	×	-	-
150	サトウキビ	○	○	自然植生
151	サトウキビ	○	○	自然植生

表 5.3.4-2(3) 農地調査結果詳細(轟川流域)

番号	農地情報	対象	対策有無	対策状況
161	牧草地	×	-	自然植生
162	牧草地	×		対策無
163	サトウキビ	○	○	樹木
164	パイン	○	×	対策無
165	パイン	○	×	対策無
166	サトウキビ	○	○	自然植生
167	サトウキビ	○	×	対策無
168	裸地	○	○	樹木
169	サトウキビ	○	×	対策無
170	パイン	○	○	部分マルチ
171	サトウキビ	○	×	対策無
172	牧草地	×	-	樹木
173	サトウキビ	○	×	対策無
174	サトウキビ	○	×	対策無
175	サトウキビ	○	×	対策無
176	サトウキビ	○	×	対策無
177	牧草地	×	-	-
178	サトウキビ	○	×	対策無
179	牧草地	×	-	植栽グリーンベルト
180	野菜	○	×	対策無
181	牧草地	×	-	樹木
182	サトウキビ	○	×	対策無
183	サトウキビ	○	○	樹木
184	サトウキビ	○	○	樹木
185	サトウキビ	○	○	自然植生
186	サトウキビ	○	×	対策無
187	牧草地	×	-	-
188	牧草地	×	-	-
189	サトウキビ	○	×	対策無
190	サトウキビ	○	○	ブロック等
191	不耕作地	×	-	-
192	牧草地	×	-	対策無
193	サトウキビ	○	×	対策無
194	牧草地	×	-	対策無
195	サトウキビ	○	○	樹木
196	裸地	○	×	対策無
197	野菜	○	○	植栽グリーンベルト
198	サトウキビ	○	×	対策無
199	サトウキビ	○	○	全面マルチ
200	牧草地	×	-	対策無
201	裸地	○	×	対策無
202	牧草地	×		樹木
203	サトウキビ	○	×	対策無
204	牧草地	×	-	対策無
205	サトウキビ	○	×	対策無
206	不耕作地	×	-	-
207	サトウキビ	○	○	全面マルチ
208	サトウキビ	○	×	対策無
209	サトウキビ	○	○	樹木
210	サトウキビ	○	○	全面マルチ
211	牧草地	×	-	対策無
212	サトウキビ	○	×	対策無
213	牧草地	×	-	対策無
214	牧草地	×	-	対策無
215	サトウキビ	○	×	対策無
216	牧草地	×		
217	牧草地	×	-	-
218	サトウキビ	○	×	対策無
219	野菜	○	○	樹木
220	牧草地	×	-	対策無
221	サトウキビ	○	×	対策無
222	サトウキビ	○	×	対策無
223	サトウキビ	○	×	対策無
224	サトウキビ	○	○	ブロック等
225	サトウキビ	○	×	対策無
226	牧草地	×		対策無
227	サトウキビ	○	×	対策無



対策実施例（グリーンベルト補栽）
地点No.7 8



対策実施例（樹木）
地点No.1 0



対策実施例（葉ガラ梱包）
地点No.2 3



対策実施例（ブロック等）
地点No.1 9



対策実施例（全面マルチ葉ガラ）
地点No.5 6



対策未実施例
地点No.8 1



対象外農地（牧草地）
地点No.2 4



対象外農地（水田）
地点No.9 9

図 5.3.4-4 確認農地例(轟川流域)